



# 2026年3月期 第2四半期決算説明資料

2025年11月13日

株式会社ニッチツ

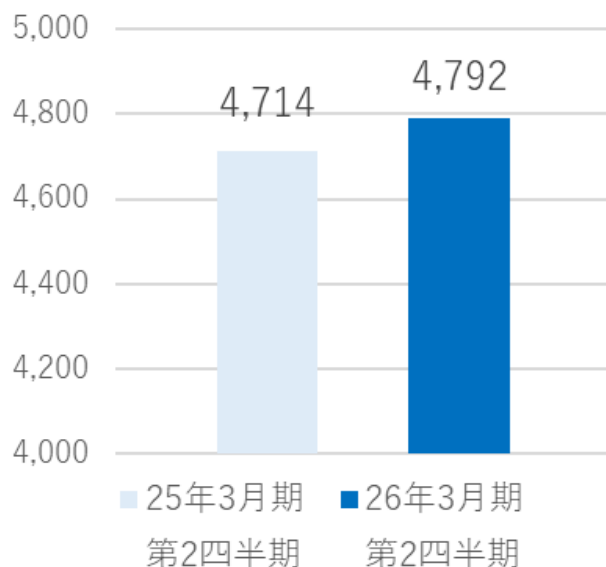
(東証スタンダード市場 証券コード7021)



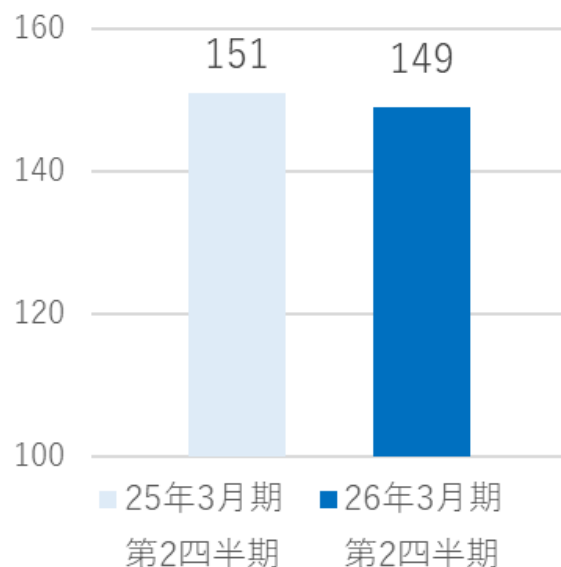
## ■ 売上高、利益ともに前年同期並みの水準を確保\*

※ 当期純利益は政策保有株式売却益を除くベース

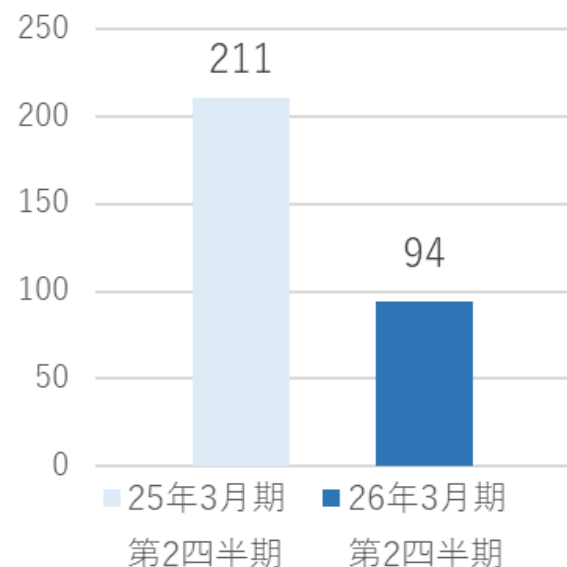
売上高



営業利益



当期純利益 (百万円)



## ■ 通期業績及び配当は、期初予想より修正無し

- ・ 営業利益400百万円 (前期比+130百万円)、 当期純利益200百万円 (前期比▲41百万円)
- ・ 中間配当17円 (前年同期比+2円)、 年間配当予想35円

# 目次

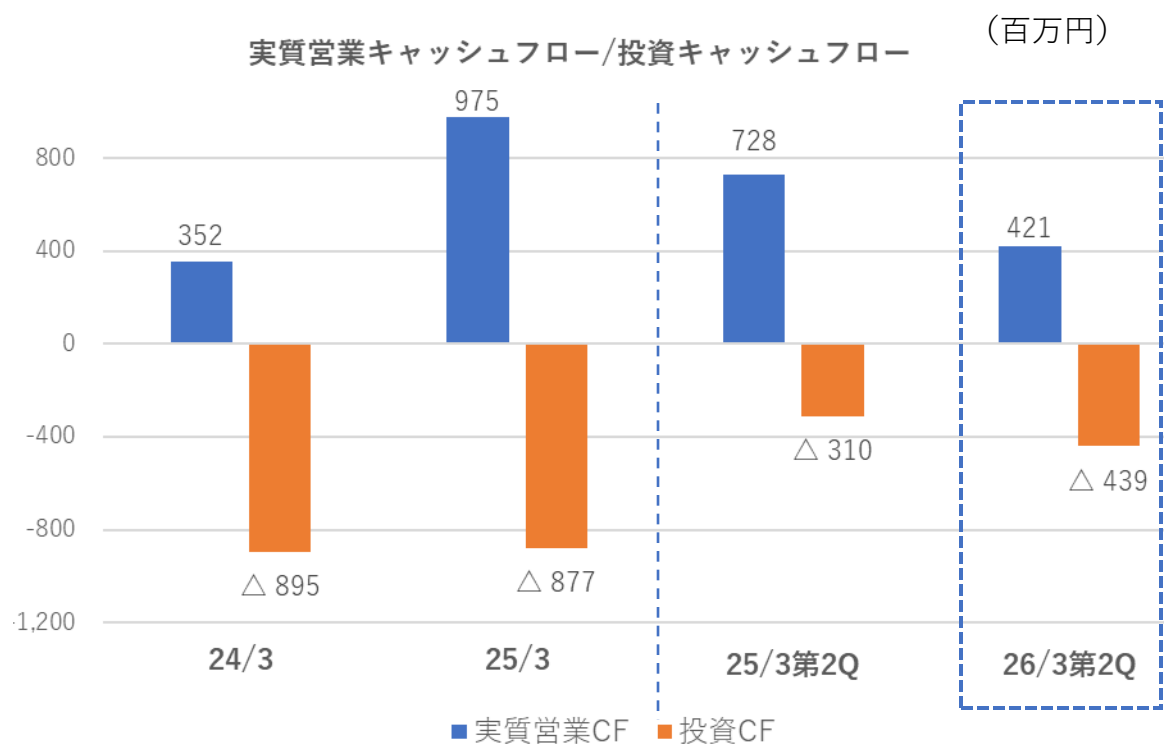
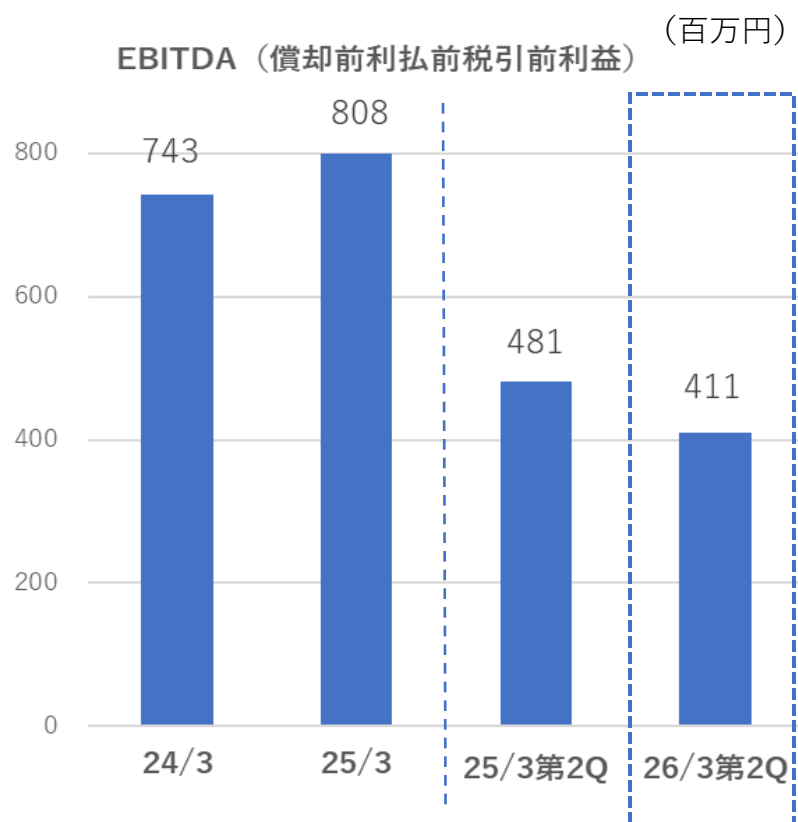
- 2026年3月期 第2四半期決算実績 … P 3
  - ・ EBITDA及びキャッシュフローの状況 … P 4
  - ・ セグメント別業績・概要 … P 5
    - ・ 機械関連事業 … P 6
    - ・ 資源関連事業 … P 7
    - ・ 不動産関連事業・素材関連事業 … P 8
  
- 2026年3月期 連結業績予想 … P 9

- 売上高**は資源関連事業が光学関連の需要減少により減収となったが、好調な船用機器部門を中心に機械関連事業が増収となり、全体では**前年同期比+1.7%**
- 営業利益**は資源関連事業では需要を確実に取り込み黒字転換。一方で、機械関連事業における工事部門における不採算工事の発生や鋼材自動加工ライン新設に伴う費用増により、全体では**前年同期比▲0.9%**
- 経常利益**は受取配当金の増加、休廃止鉱山管理費の減少より**前年同期比+32.4%**
- 当期純利益**は前期政策保有株式売却益(130百万円)の剥落及び鋼材の自動加工ライン新設に伴う工場改修等に係る固定資産処分損計上より**前年同期比▲55.2%**  
なお、政策保有株式売却益を除くベースでは前年同期並み

(百万円)	25年3月期 第2四半期	26年3月期 第2四半期	前年同期比 増減	前年同期比 増減率
<b>売上高</b>	4,714	<b>4,792</b>	77	1.7%
<b>営業利益</b>	151	<b>149</b>	△1	<b>▲0.9%</b>
<b>経常利益</b>	119	<b>158</b>	38	32.4%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	211	<b>94</b>	△116	<b>▲55.2%</b>

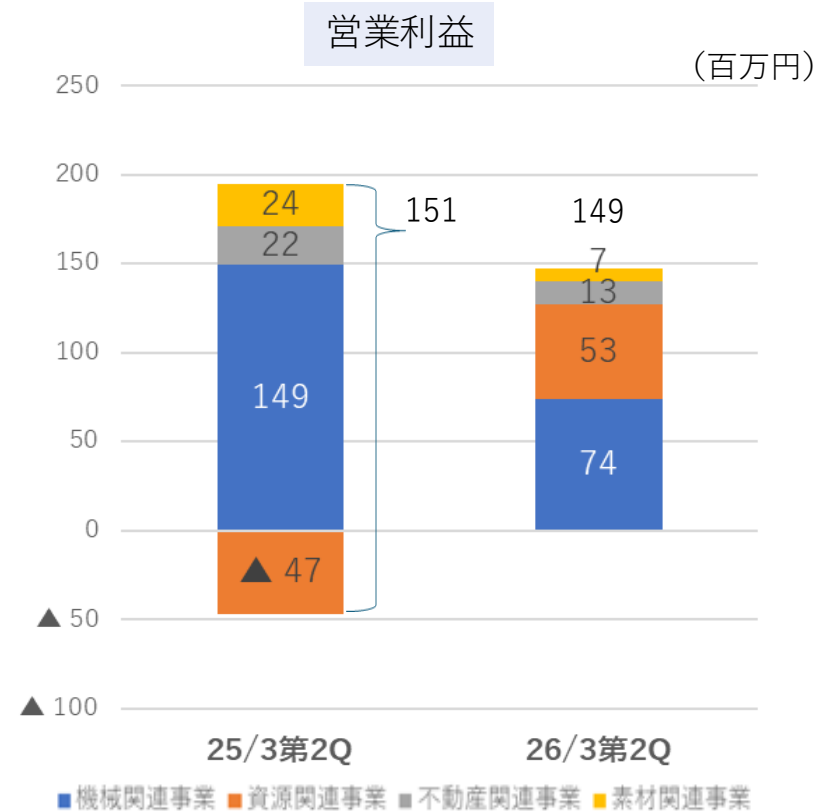
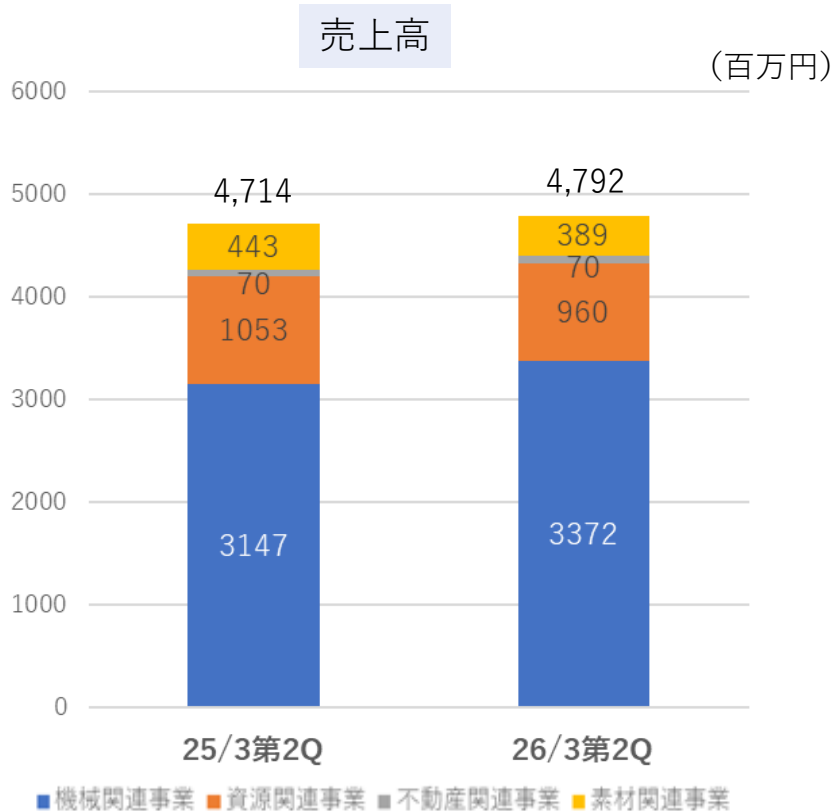
# EBITDA 及びキャッシュフローの状況

- EBITDAは411百万円と前年同期より減少。政策保有株式売却益130百万円を除くベースでは前年同期比プラスを確保
- 実質営業キャッシュフローは保険関連収支の影響により、421百万円と前年同期より減少
- 投資キャッシュフローは△439百万円、積極的な設備投資を継続



※実質営業CF = 営業CF - 運転資金増減 (売上債権・売掛金・棚卸資産・仕入債務)

- 機械関連事業 : 船用機器の設計・製作、空気予熱機ほかの一般産業機械等の設計・製作、プラント関連機器の製作及び機械装置の据付・施工・監理
- 資源関連事業 : ハイシリカ(精製珪石粉等)の製造・仕入・販売
- 不動産関連事業 : オフィスビルの賃貸
- 素材関連事業 : 耐熱塗料の製造・販売及びライナテックス(高純度天然ゴム)の仕入・加工・販売



## ○舶用機器部門

ハッチカバー・船殻ブロックともに引き続き堅調に推移。鋼材自動加工ライン新設に伴う費用増や工場設備の修繕費等により減益

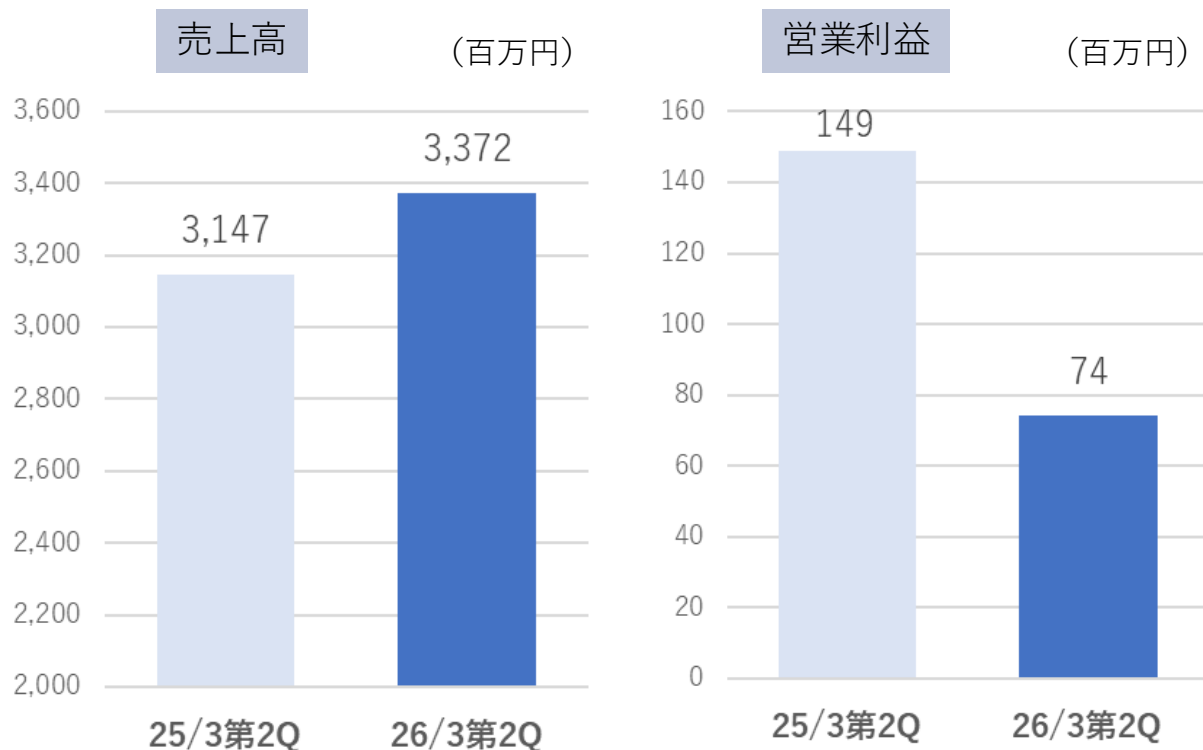
## ○産業機器部門

製鉄機械関連中心に増収。一方で、工事採算悪化により減益

## ○工事部門

前期大型工事の剥落・不採算工事の発生により減収・減益

売上高 **3,372百万円**（前年同期比+7.1%）  
 営業利益 **74百万円**（前年同期比▲50.2%）



○松浦工場 鋼材の自動加工ライン新設  
 (2025年5月稼働開始)

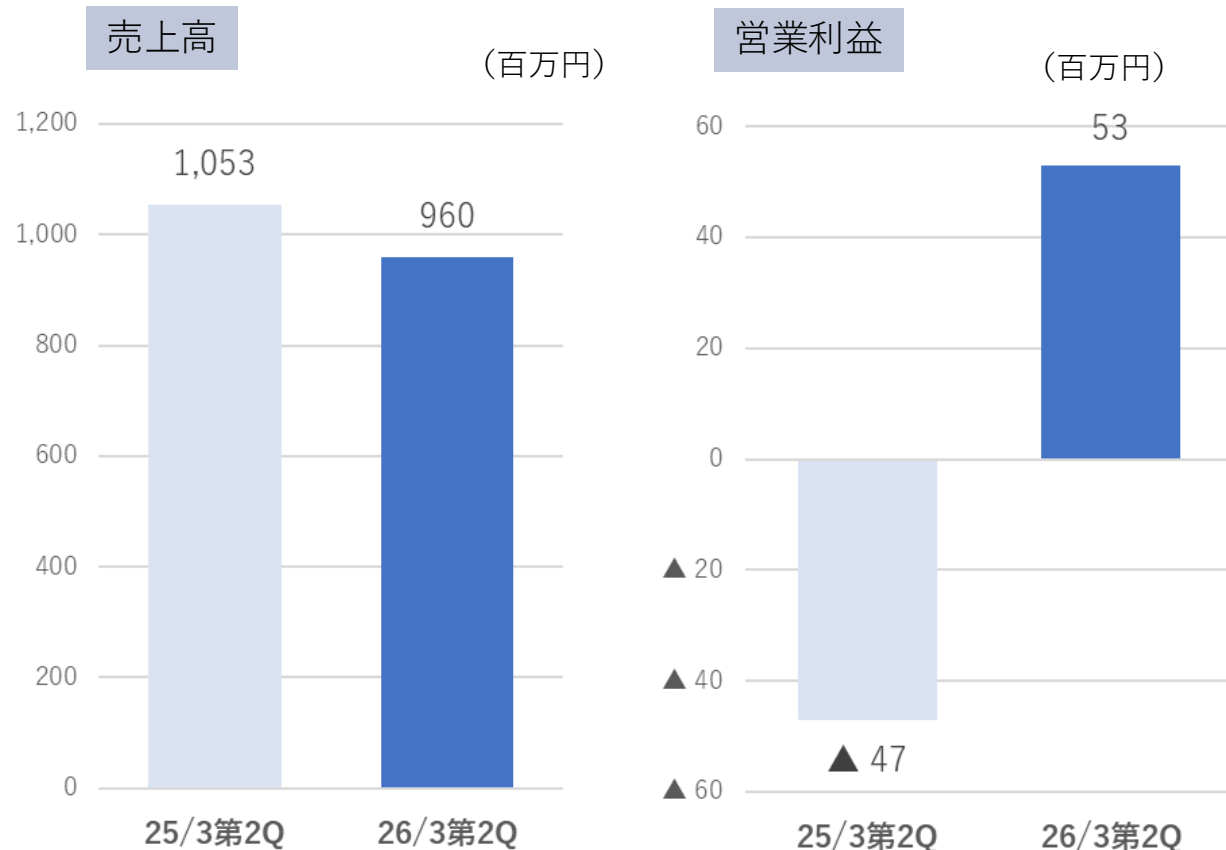


## ○ハイシリカ（精製珪石粉等）部門

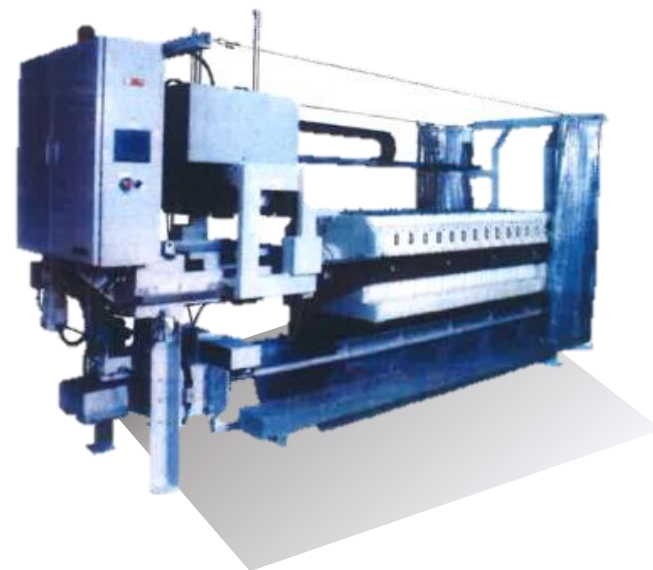
光学関連における半導体関連向けガラスの需要鈍化により減収となるも、回復基調にある半導体封止材関連の需要を確実に取り込み、前年同期の赤字から黒字転換

売上高 960百万円（前年同期比▲8.8%）

営業利益 53百万円（前年同期は47百万円の営業赤字）



○鹿町工場 フィルタープレス更新





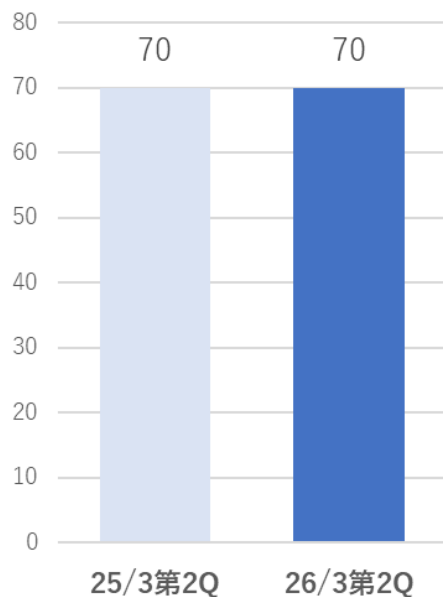
## ○不動産関連事業

賃貸ビルの稼働状況が順調に推移  
メンテナンス工事実施により減益

売上高 70百万円 (前年同期比+0.2%)  
営業利益 13百万円 (前年同期比▲41.7%)

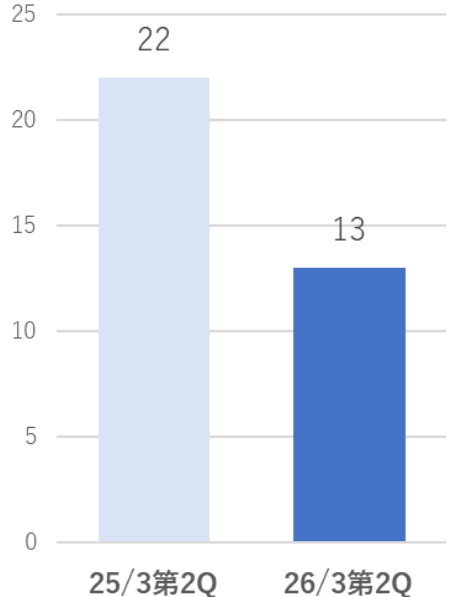
売上高

(百万円)



営業利益

(百万円)



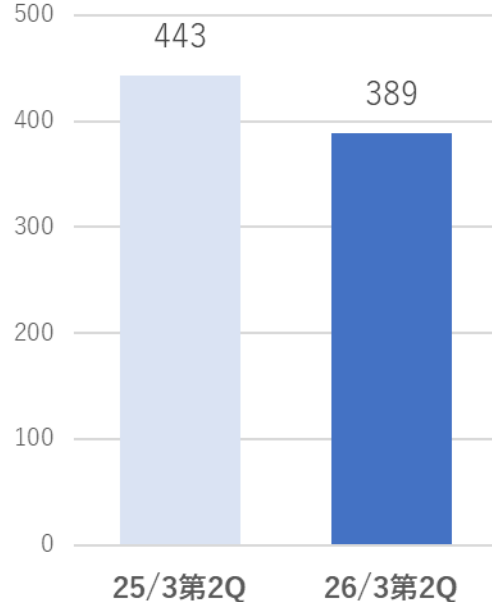
## ○素材関連事業

耐熱塗料部門は設備用が増加する一方で、  
工業用・輸出用ともに低調  
ライナテックス(高純度天然ゴム)関連部門は  
大型案件一巡により苦戦

売上高 389百万円 (前年同期比▲12.2%)  
営業利益 7百万円 (前年同期比▲67.8%)

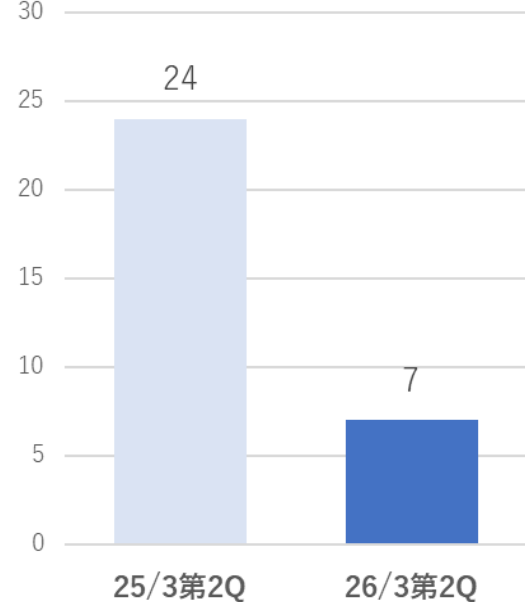
売上高

(百万円)

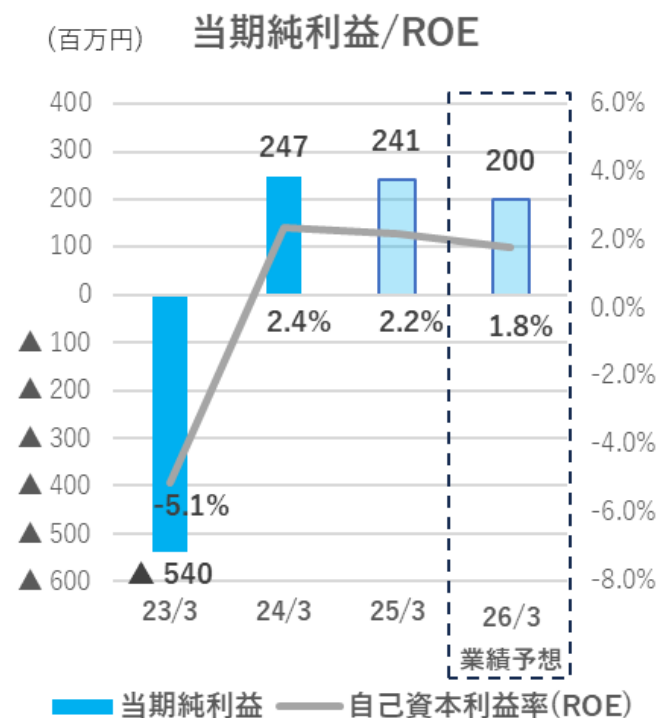
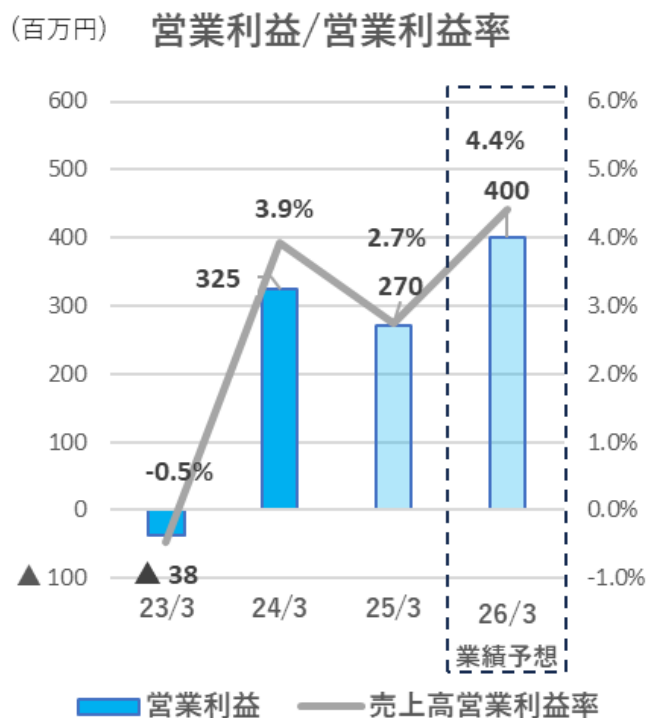
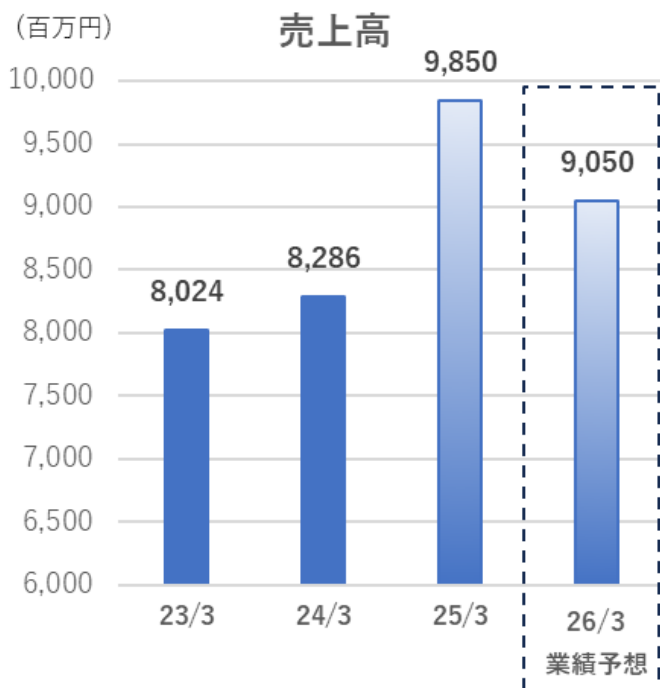


営業利益

(百万円)



- 26/3期連結業績予想は売上高9,050百万円、営業利益400百万円、当期純利益200百万円と期初予想から変更無し
- 機械関連事業の船用機器部門は、既に受注を確保しているハッチカバー、船殻ブロックともに引き続き堅調に推移、今後の工事採算改善を見込む
- 資源関連事業（ハイシリカ部門）については、底打ちした半導体封止材関連需要及び液晶関連需要の取り込みを見込む



## 本資料に関してのご注意

本資料は、特定の商品の販売やサービスの提案、勧誘、または営業活動を意図したものではありません。情報提供を目的としています。

なお、本資料は、金融商品取引法や投資信託、投資法人法令に関する法律、東京証券取引所関連の暫定規程、その他法令や規則に基づく正式な開示資料や報告書ではありません。

また、本資料に掲載している将来予測に関する情報は、当社が現時点で合理的と判断する一定の前提に基づいています。そのため、実際の結果と大きく異なったり、予告なしに変更される可能性がありますので、あらかじめ御了承ください。

お問い合わせは、  
当社HP「お問い合わせフォーム」よりお願いいたします  
<https://www.nitchitsu.co.jp/contact/>





株式会社ニッチツ  
NITCHITSU CO.,LTD.